

宇都宮市第5次高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の施策体系（案）

**1-1 宇都宮市の状況**

- 人口は約50万3千人
- 高齢者人口は91,556人
- 高齢化率は18.20%  
(全国平均20.8%, 県平均20.49%)
- 高齢者単身世帯の増加
- 平均寿命(男78.5歳, 女85.7歳)
- 就業者に占める高齢者の割合の増加
- 要介護認定者数は, 13,771人
- 要介護認定率は15.04%

**1-2 宇都宮市政に関する情勢分析レポート**

- まちづくり施策に関する市民意識
- ⇒基本施策「高齢者福祉を充実する」に関して
- 満足度: 10位 (H16) → 16位 (H19)
- 重要度: 4位 (H16) → 1位 (H19)

**1-3 一般高齢者対象アンケート調査結果**

- 現在の外出先は, 商店や病院が多いが, 今後は「趣味・余暇活動の場」を希望する人の割合が多い
- 今後の外出手段として公共交通の利用を希望する人が多い。
- 生きがいを感じる事「スポーツ」「グループ活動」「学習や教養を高める活動」とする人の割合が多い
- 地域包括支援センターの認知度が低い
- 介護予防や, 保健・福祉サービスの認知度が低い
- 特定健診の受け方が「わからない」人が多い
- 介護保険制度の認知度が低い

**1-4 若年者対象アンケート調査結果**

- 高齢期の就労意欲が高まった
- 生きがいづくりとして「学習や教養を高める活動」「スポーツ」「グループ活動」の順で割合が高い
- 介護を支える人づくりに重要なこととして「福祉産業の育成」「福祉教育の充実」「地域における交流の場づくり」の順で割合が高い
- 地域包括支援センターの認知度が低い
- 介護保険制度の認知度が低い

**1-5 介護保険利用者実態調査結果**

- 主な介護者は, 男性は妻の割合が, 女性は娘や息子の配偶者の割合が高い
- ケアプランの満足度は高い
- 今後利用したいサービスとして「通所介護」「訪問介護」「福祉用具貸与」の順となっている
- 今後, 介護サービスを受けたい場所として, 「在宅(自宅)」とする意見が多い
- 介護保険料について「サービスの水準を抑えて, 保険料を安く」という意見が, 「保険料が高くても, サービスを充実させたほうがいい」という意見を上回っている

**2 現行計画の評価**

**①健康ではつらつとした生活の実現**

- 健康づくり事業は, 概ね目標を達成
- 生活習慣病対策は一部で目標を下回る
- 介護予防事業全般で見込みを下回る

**②生きがいのある生活の実現**

- 生きがいづくりの推進は概ね目標を達成
- 社会参画の推進は概ね目標を達成

**③安心して自立した生活の実現**

- 介護保険事業は, (介護予防事業等を除き)概ね計画通り進捗
- 在宅福祉サービス, 施設福祉サービスの充実
- は概ね目標を達成
- 地域保健・福祉体制の推進は概ね目標を達成
- サービスの質の向上は概ね順調に進捗
- 高齢者の権利擁護の充実は一部で目標を下回る

**④快適で安全安心な生活の実現**

- 施設等バリアフリーの推進は概ね目標を達成
- こころのバリアフリーの推進は概ね目標を達成
- 安全安心な暮らしの確保, 居住環境の整備は一部で目標を下回る

**3-1 <国の動向> 資料2-1**

- 社会保障の機能強化のための緊急対策～5つの安心プラン～(H20.7)
- ⇒高齢者が活力を持って, 安心して暮らせる社会づくり
- 「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト」(H20.7)
- ⇒認知症になっても安心して生活できる社会を早期に構築
- 「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」(改正案)
- 平成21年度介護報酬改定

**3-2 <県の動向> 資料2-2**

- 栃木県地域ケア体制整備構想(H20.2)
- ⇒地域ケア体制の在り方と療養病床の再編成(療養病床転換推進計画)について
- 栃木県高齢者支援計画「はつらつプラン21」(四期計画)(策定中)

**3-3 <宇都宮市の施策> 資料2-3**

- 宇都宮市第5次総合計画(H20.3)
- ⇒政策の柱「市民の安心で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために」の実現
- ⇒戦略プロジェクト「げんき高齢者パワー」地域づくり応援プロジェクト
- 第2次宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり計画(H20.3)
- ⇒「おもいやりがあふれるまち」「安心して暮らせるまち」「自立を共に支え合うまち」を目指す

**4 社会情勢等の変化 資料3**

- ・少子高齢化
- ・団塊世代の大量定年退職
- ・認知症高齢者の増加
- ・高齢者虐待問題
- ・高齢者が関わる犯罪・事故の増加
- ・生活習慣病の増加

**5 導きだされる課題**

**課題1:健康ではつらつとした生活の実現**

- (1) 市民一人ひとりが, 自ら健康づくりに取り組めるような体制の整備が必要である。
- (2) 疾病の予防, 早期発見・早期治療を図るため, 一次予防に重点をおいた施策の推進が必要である。
- (3) 高齢者が要介護状態にならないように, 介護予防事業を推進・充実する必要がある。

**課題2:生きがいのある生活の実現**

- (1) 高齢者の生きがいづくりのため, 関係機関との適正な役割分担による学習機会の拡充が必要である。
- (2) 関係機関等との連携・協力体制の確立やシニア世代の活躍の支援が必要である。

**課題3:安心して自立した生活の実現**

- (1) 介護サービスの質の向上を図るとともに, 介護サービスの提供基盤の整備が必要である。
- (2) 在宅福祉サービスの充実を図るとともに, 施設福祉サービスの計画的な整備が必要である。
- (3) 地域全体で高齢者を支え合うことの出来る体制の整備が必要である。
- (4) 適正なサービスを提供する事業者の育成・支援を行い, また国や県と連携した人材の確保や育成の充実を図る必要がある。
- (5) 認知症に対する理解や正しい知識の普及を図り, 認知症高齢者の早期発見・早期対応等の体制作りを図る必要がある。
- (6) 成年後見制度や権利擁護センターの普及啓発及び地域包括支援センターの有効活用による高齢者権利擁護の充実を図る必要がある。

**課題4:快適で安全安心な生活の実現**

- (1) 市民生活に直結する身近な施設や道路等のバリアフリー化を推進する必要がある。
- (2) 福祉のイベントや身近な交流活動を通じた福祉のこころをはぐくむ必要がある。
- (3) 交通安全教育や防犯講習会等の実施を通じた啓蒙活動及び災害時の支援体制の整備が必要である。
- (4) 高齢者が, 安心して住み慣れた地域で日常生活を送れるよう居住環境の整備を図る必要がある。

**6 基本理念 資料4**

健康で生きがいをもち, **安心して自立した生活を送ることができる笑顔あふれる長寿社会の実現**

**7 基本目標・施策の方向性・主な施策 資料5-1**

**1.健康ではつらつとした生活の実現**

- (1) 健康づくりの推進
- ・健康づくりの推進
- (2) 疾病予防対策の推進
- ・疾病予防対策事業の推進
- (3) 介護予防対策の充実(主要施策)**
- ・介護予防事業の充実 等

**2.ゆたかで生きがいのある生活の実現 資料5-2**

- (1) 生きがいづくりの充実
- ・老人クラブ活動の育成・支援
- ・学習・芸術・スポーツ活動の推進 等
- (2) 社会参画の推進
- ・高齢者の外出支援の充実
- ・みやこ活動センターの機能充実(主要施策)等**

**3.安心して自立した生活の実現 資料5-3**

- (1) 介護保険事業の充実
- ・介護保険サービスの提供
- ・事業の円滑な実施のための方策の推進
- (2) 福祉サービスの充実
- ・在宅福祉サービスの充実
- ・施設福祉サービスの充実
- (3) 地域保健・福祉体制の充実
- ・地域における福祉サービスの充実
- ・ボランティア・NPOの活動支援
- (4) サービスの質の向上
- ・サービス提供事業者の育成・支援
- ・人材の養成・確保の推進 等
- (5) 認知症高齢者対策の推進(主要施策)**
- ・認知症予防
- ・認知症高齢者などが暮らしやすい地域づくりの推進 等
- (6) 高齢者の権利擁護の充実
- ・成年後見制度の活用
- ・地域福祉権利擁護制度の利用促進
- ・高齢者虐待への対策

**4.快適で安全安心な生活の実現 資料5-4**

- (1) ユニバーサルデザインの推進
- ・公共的空間のバリアフリーの推進
- ・こころのエバーサルデザインの推進 等
- (2) 安全で安心な暮らしの確保
- ・高齢者の事故防止の推進
- ・防災対策の強化 等
- (3) 高齢者にやさしい居住環境の整備
- ・高齢者にやさしい住環境整備事業の充実 等